

## 整備事業評価書

(都道府県名: 神奈川県)

政策目的	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	都道府県による点検評価(所見)	国による点検評価
産地競争力の強化	2	0	2	100	両事業とも成果目標を達成しており、事業の効果が認められる	成果目標の平均達成率は100%で、成果目標を達成。引き続き事業の円滑な実施に向けた指導をお願いする
経営力の強化	0	0	0	-	/	-
食品流通の合理化	/	/	/	/	/	/

2 整備事業  
(産地競争力の強化を目的とする取組用)

(神奈川県 平成21年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
藤沢市、海老名市	さがみ農協	産地競争力の強化	輸入急増農産物における産地構造改革の推進	輸入急増野菜(トマト)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	【輸入急増野菜】高付加価値化(低農薬栽培) トマトの全出荷量に対する割合の増加	受益農家の全出荷量に対する出荷割合 70%	受益農家の全出荷量に対する出荷割合 100%	受益農家の全出荷量に対する出荷割合 100%	受益農家の全出荷量に対する出荷割合 100%	受益農家の全出荷量に対する出荷割合 100%	100%	全出荷量に対する高品質化 トマトの出荷割合が30%増加した。	・低コスト耐候性ハウス5棟 0.88ha ・付帯事務事業(技術指導等)	180,600,000 300,000	86,000,000 150,000	0 150,000	0 0	94,600,000 0	H18.12.20	低農薬栽培の更なる実践と、高付加価値化、高品質化が図られ、有利販売につながり、生産技術の改善による出荷量増大が図られた。	事業計画に基づき、生産技術の改善、有利販売による増産が図られた。
伊勢原市	ブルーファイブ	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料増産(飼料用トウモロコシ)	生産性向上	【飼料増産】事業実施主体の飼料作付面積の増加	トウモロコシ 13ha	トウモロコシ 16ha	トウモロコシ 16ha	トウモロコシ 16ha	トウモロコシ 16ha	100%	飼料作付面積を3ha増加させた。	共同利用機械整備 飼料作物関連施設機械 [フォレージハーベスター(コーンハーベスター)]	3,680,000	1,216,000	608,000	608,000	1,248,000	H18.9.30	作業体系が改善され、耕作地の拡大がなされ、効率的な飼料増産を行うことができた。	事業計画に基づき、自給飼料の効率的な増産が図られた。